

vol.
798

Compass

 <http://nikkenkyo.jp/>
 info@nikkenkyo.jp

9

September
2013

パラグライダー

日建協

2013年度 日建協の活動 & 本部役員

第90回 日建協定期大会

さあ踏み出そう、新しい一步を。
建設産業の明るい未来へ。

「心と体の健康」と
「ワーク・ライフ・バランスの実現」のために

中期時短方針2013

建設産業の持続的発展のために

土木作業所で働く組合員の労働環境の改善をめざして

NIKKENKYO YOUNG GO! GO! 2013

～「初めまして」なのに、「乾杯」と言える出会いを～

日建協共済制度のお知らせ

2013年度の第一次募集の締め切りが目前ですよ!

オフィスでできるトレーニング! ③

続・東西組合細見 21 — 安藤・間職員組合
クロスワードタイム 他

2013年度 日建協の活動 & 本部役員

☺ : ON...2013年度の抱負
☹ : OFF...休日の過ごし方

働きがい・産業としての魅力 労働条件の向上

～私たちのワーク・ライフ・バランスをめざして～



うえむら よしてる
植村 芳輝
議長
シミズユニオン
事務

☺ この一年、建設産業の魅力向上にむけ全力を尽くします。なにごとにも先手必勝。常に先を考えて動きたいと思います。

☹ 休みの日は海に、山に、街に積極的に出かけてリフレッシュしています。真黒になるほど外にいることが私の健康の秘訣です。

ふくやま たけお
福山 剛男
副議長 兼
政策企画局長
奥村組職員組合
土木

☺ 建設産業で働く皆さんが安心して働き続けられる魅力ある建設産業の実現に向けて、この一年頑張りたいです。

☹ 休日には疲れて寝るばかりで子供達との時間が持てていません(涙)。仕事も生活も充実させ、家族との思い出作りに努力したいと思います。

さとう ともひろ
佐藤 友厚
副議長 兼
政策企画局長
飛鳥建設労働組合
土木

☺ 建設産業で働いていて良かったと組合員の皆さんが感じられるよう、そして自分自身が実感できるようにがんばります。

☹ 少年野球のコーチと学校や地域の子供たち向けイベントのスタッフをしていることが多いですが、家族で西武ドームに野球観戦に行くのが一番の楽しみです。

しぶかわ あきら
澁川 明
事務局長 兼
組織局長
三井住友建設
社員組合 事務

☺ 多くの仲間が声を合わせることで、建設産業の魅力が向上していくと思います。組織の拡大にむけて、今年度も一層頑張ります。

☹ 趣味の鉄道写真撮影(撮り鉄)のため、日本各地を巡っています。理解ある家族に感謝しています(一人旅ばかりですが)。

とどう たかし
登藤 高司
政策企画局長
(労働条件)
フジタ職員組合
事務

☺ はるばる久里浜から通勤。日建協にいる時は、いかに効率よく、建設産業や加盟組合のみなさんのために役立つと考えています。

☹ 三浦半島からあまり出ません。仲間と酒を飲みながら人生や少年サッカーについて、熱く語っています。

すみ しんや
角 真也
政策企画局長
(産業政策)
五洋建設労働組合
事務

☺ 目覚ましを6時にセットすることがONのはじまり。活動に全力投球できるように、朝は一杯の冷たいお茶と大空の下での一服からはじまるのが、最近のトレンド。

☹ 目覚ましをセットしないことがOFFのはじまり。しっかり詰め込んだOFFのスケジュールに心躍らせて。最近は、小旅行にはまっています。

なち つよし
那知 健志
政策企画局
(労働条件)
西松建設職員組合
事務

☺ 組合員のみなさんが、少しでも魅力を感じられるよう、微力を尽くして活動に取り組んで行きたいと思います。

☹ 休日は、ほとんど息子と遊んでいます。対決ゴッコで息子が放つパンチ、キックは最近驚異的ですが、痛みとともに、仕事の活力にもなっています。

ときえだ まさお
時枝 将雄
政策企画局
(産業政策)
戸田建設職員組合
建築

☺ 魅力ある建設産業をめざし、とりわけ作業所の「4週8休」への実現に向けて全力で活動を進めて参ります。

☹ 自転車や水泳、ゴルフで汗を流しています。夏休みは家族でハケ岳縦走してきました。風呂掃除に洗濯、ゴミ捨ても進んでガンバります。

なかじま ひでお
中島 秀夫
政策企画局
(産業政策)
佐藤工業職員組合
土木

☺ 魅力ある建設産業の実現に向け、加盟組合の皆さんの声をカタチにするべく、目の前のことからコツコツと取り組んでいきたいと思っています。

☹ 身長と体重のバランスをとるべく、万歩計と表示カロリーの数字を気にしながらメタボ治療にチャレンジしたいと思っています。まずは毎食、両手に乗るだけの野菜を摂ること、週末のトレーニングジム通いから始めます。

よしだ ともお
吉田 朋生
組織局
(組織・広報)
安藤・間職員組合
事務

☺ 皆さんに気軽に声をかけていただけるよう、頼ってもらえる存在になれるよう、自分のできることを日々模索しながら活動していきます。

☹ 家族の下へ帰省し、愛娘らと一緒に公園で遊んだり買い物に行ったりしています。帰省しない休日については記載できません... (秘)。

つかもと ふくじ
塚本 福二
事務局

☺ 雇用の確保、労働条件の向上が労働組合の役割だと思います。その事を念頭に残務整理に集中したい。

☹ ①読書。②ハイキングに行く。③地域セミナーや勉強会に参加する。④平日飲まないお酒を飲む。⑤一日一万歩目標。

まつい ひさえ
松井 久恵
事務局

☺ 日建協が少しでも身近に感じられるように、この1年間がんばっていきます。ぜひコンパスやHPをご覧ください。

☹ 年々疲れやすくなってきたので、これからは今まで以上に健康に気をつけて過ごしたい。目標は毎日一万歩。

いで ますみ
井出 眞澄
事務局

☺ 日建協ホームページやポスター、Compassなどの広報物をつうじて、皆さんのお役にたてるよう頑張ります。

☹ 大好きな歌と太極拳。がつりワークの後はしっかり動いたり声を出したり、身体も心もリフレッシュ。健康第一です。

やぎ のりこ
八木 規子
事務局

☺ 日建協共済制度に既にご加入頂いた方でも、制度の中身をご存じない方が多いようです。『もったいない!』 わからないことがあれば日建協までお問い合わせください。

☹ お休みは家でのおんびりと過ごすことが多くなり、このままではいけないと、昔楽しみにしていた博物館巡りでも再開してみようかなと思います。



第90回 日建協 定期大会

さあ踏み出そう、新しい一歩を。 建設産業の明るい未来へ。

8月1日、2日の両日、日建協は東京（日暮里）のホテルラングウッドにおいて第90回定期大会を開催しました。加盟組合から代議員と多数の傍聴者が出席し、活動方針について活発な議論を交わしました。また本大会で植村新議長をはじめとする新役員が選出され、2013年度の日建協活動がスタートしました。

新議長挨拶

「私たちのワーク・ライフ・バランスをめざして」 議長 植村 芳輝

このたび、日建協議長となりました植村芳輝です。これまで以上に変化が求められるこの時期に、重責を託されたことに対し、非常に身の引き締まる思いです。

建設産業の労働環境は、非常に厳しい環境におかれています。昨年度実施した日建協アンケートにおいては、外勤者の平均所定外労働時間は月80時間を超え、外勤建築系に至っては100時間に迫ろうという値を示しています。これはまさに危機的な状態と言わざるをえません。近年、ワーク・ライフ・バランスが声高に叫ばれるなか、私たち建設産業で働く仲間は多忙を極め、その本来の意味を理解する時間すら満足に与えられていないのです。この問題は、既に一組合員、一加盟組合、そして一企業で解決できるレベルを超えており、産業全体という大きな土俵で議論しなくてはならないと思います。今年度日建協は、産業別労働組合として組織の総合力を最大限活かし、この状況を打ち破っていきたいと考えています。

建設産業は変化の過程にあります。国や業界団体が産業の構造改革に向けて様々に動こうとしている今は、私たちの労働環境をより良いものにしていくチャンスです。日建協はこの潮流をしっかりと捉え正のスパイラルとしていくために、確実に取り組んでいきます。これからの一年間、加盟組合の皆さんとともに、全身全霊で活動を進めてまいりたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。



2013年度活動方針(ポイント)

《活動の2本柱》

■産業政策活動

・提言活動

土木・建築工事における組合員の労働環境改善に向けて官庁や発注者団体に提言します。

・アドバイザー会議(土木・建築)

加盟組合よりアドバイザーを募り、提言活動に組合員の声を反映させます。

・出前講座

建設産業の次世代を担う大学生を対象に出前講座を開催し、社会資本整備の重要性と建設産業の魅力を伝えます。

・女性技術者会議

女性技術者の視点から建設産業の魅力を向上させる上での課題を討議します。

■加盟組合支援

・統一土曜閉所運動の推進

組合員一人ひとりの休日取得・時短意識の向上にむけた取り組みの一つとして年2回(6月・11月第2土曜)の統一土曜閉所運動を進めます。

・休日取得、平日の所定外労働時間の削減

休日の取得はもちろん、今年度は平日の所定外労働時間の削減にも力を入れて取り組みます。

・時短推進委員会

加盟組合より時短推進委員を募り、時短に向けた様々な方策を討議します。

・賃金政策の見直し

日建協が賃金をどのように考えるかを示す「日建協賃金政策」を見直します。

・セミナー開催

組合員の皆さんに役立つセミナーを開催します(5回/年)。(EX.賃金交渉事前セミナー、労働法セミナーなど)

《活動の基盤》

■データバンク機能

時短アンケートや賃金調査、労働条件総合調査など、実施した調査データをバックデータとし、日建協活動の基盤とします。また、調査結果は適時適切に加盟組合へフィードバックします。

■組織活動

・機関誌「Compass」など広報活動の充実

機関誌「Compass」を4回/年発行し、日建協活動を積極的に広報します。ホームページやメルマガ、Nikkenkyo Newsなど様々な広報ツールをより充実させます。

・共済制度

日建協のスケールメリットを活かした共済制度の広報を積極的に展開します。

・財政と活動に関する小委員会

日建協活動の健全な運営を続けていくため、加盟組合とともに財政と活動の検討を行います。

分散会で出た主な意見

- ・国交省以外についても、建設業界の現状に危機感を持っていると考えられるため、提言先の拡充を検討すべきではないか。また、昨今の目まぐるしい環境の変化に対応すべく、提言内容の検討をスピーディに行い、タイムリーに提言して欲しい。
- ・建設業界への風が変わりつつある今こそ、次世代への取り組みである出前講座に力を入れて欲しい。開催大学の拡大と合わせて、より若い世代を対象とした開催についても検討して欲しい。
- ・休日取得に続き、平日の所定外労働時間の削減を時短推進目標の共通取り組み項目に追加したことの意味は大きい。業務効率化・生産性向上にむけて取り組んでいきたい。
- ・海外進出が増加しているため、現地情報等の収集に努め、積極的に展開して欲しい。
- ・日建協ヤング・ゴー!・ゴー!については、地方開催も含め検討の上、ぜひ開催して欲しい。
- ・中期時短方針2013について、より利用しやすくなるよう周知・推進をお願いしたい。

分散会で頂いた貴重なご意見は、今後の日建協活動の参考にさせていただきます。



定期大会の紹介



議長団:左より
村田大会議長(五洋建設労働組合)
河添大会議長
(青木あすなろ建設職員組合)



選挙管理委員:左より
大槻委員(りんかい日産建設職員組合)
伊澤委員(ピーエス三菱労働組合)
右、藤田委員長(五洋建設労働組合)



議案はすべて可決・承認



選挙により新役員が選出

名刺交換会

大会に引き続き、多数のご来賓と加盟組合役員の出席のもと、名刺交換会を開催しました。冒頭の植村議長の挨拶のあと、ご来賓の方々から定期大会が活発な議論の後に閉会したことに対し、ご祝辞を頂戴しました。また、加盟組合を



ご来賓のみなさま:左から

- ・日本労働組合総連合会 総合組織局長 山根木 晴久 様
- ・日本建設業連合会 事務総長 有賀 長郎 様
- ・国際建設林業労働組合連盟 日本加盟組合協議会 議長 河田 伸夫 様

日建協新年度の活動スタートに寄せて

日本労働組合総連合会(連合)副事務局長 水谷 雄二 様

今取り組むべきであるのは社会全体の労働環境の底上げです。連合は「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて、全力で活動を進めています。今年度も日建協の皆様との積極的な活動に期待しています。



国土交通省 土地・建設産業局 建設市場整備課
労働資材対策室 課長補佐 小野 健太 様

建設産業が抱える構造的な問題に対し国交省は様々な対策を講じています。特に適正な価格、工期で受発注することは非常に大切なことだと認識しています。建設産業全体の社会的経済的地位の向上にむけて、労働者側も是非大きく声を上げてほしいと思います。



厚生労働省 職業安定局 建設・港湾対策室長 上田 国土 様

建設産業では東日本大震災の影響などにより人手不足が顕在化し、非常に厳しい状況です。皆様の声を頂きながら、特に若年層の入職者不足、熟練者の技術継承の問題について力を入れて取り組んでいきます。



内閣府 男女共同参画局推進課長
仕事と生活の調和推進室参事官 小林 洋子 様

仕事と生活の調和を推進するため、2020年までの行動指針を定め、政労使一体となって取り組んでいます。代表的な活動に「カエル!ジャバン!」がありますが、WLBの適切な理解と浸透を望んでいます。



建設産業労働組合懇話会 代表
建設連合 中央執行委員長 星野 康幸 様

組合活動は、考え方次第で何にでも取り組める無限の可能性を秘めています。執行部の皆様には、これまでの枠にとらわれず幅広い視点で、何でも積極的にチャレンジして頂きたいと思います。



～退任役員を代表して～

日建協前議長 山田 栄治

この第90回定期大会をもって、日建協執行部を退任いたしました。ここまで任期を全うすることができたのも、ひとえに加盟組合の皆さんのご支援のおかげだと思っています。本当に有難うございました。

産業を取り巻く状況が大きく変わろうとする時代において、日建協の産業別労働組合として果たす役割は、今後ますます重要になってくると思います。日建協には魅力ある建設産業の実現に向けて力強く歩んでいくことを心より期待します。



日建協は、2013年度のスローガン「さあ踏み出そう、新しい一歩を。建設産業の明るい未来へ。」のもと、働きがいのある、魅力ある建設産業の実現に向け全力で取り組んでまいります。加盟組合の皆さん、今後ともよろしく願います。

「心と体の健康」と「ワーク・ライフ・バランスの実現」のために 中期時短方針 2013

建設産業を取り巻く労働環境は、近年悪化の一途をたどっています。このような状況のなかで、日建協は、組合活動の柱となる労働条件の改善にむけて時短推進活動に取り組んでいます。2013年度は、「中期時短方針2013」の周知・推進に積極的に取り組んでいきます。今号では、「中期時短方針2013」をできるだけ分かりやすく紹介してみたいと思います。

この新しい時短方針を、加盟組合や組合員みなさんに、時短推進活動に取り組む際の有効なツールとして活用していただければ幸いです。

中期時短方針とは？



日建協で「中期時短方針2013」を策定したいんですけど、中期時短方針って何のことですか？



日建協加盟組合が連帯して時短に取り組むにあたっての時短の目的、所定外労働時間の削減目標や加盟組合が取り組む内容を具体的に示したものだ。加盟組合の時短目標の実現に、より効果的な方針として活用して欲しいと考えてるんだ。



中期時短方針は、取り組み状況や社会情勢に応じて定期的に見直しが行われています。「中期時短方針2013」も1年間かけて、加盟組合から参加していただいた時短推進委員会で議論し、策定されました。

時短の目的とは？



時短って何のためにやるんですか？

時短に取り組むことによって、組合員が心と体の健康に不安を抱えることなく生活でき、「仕事と生活の調和」がとれた、ゆとりある生活ができることをめざしているんだよ。「中期時短方針2013」では、次の2つを時短の目的にしているよ。

- 時短の目的 ● 組合員の心と体の健康のために
ワーク・ライフ・バランスの実現のために

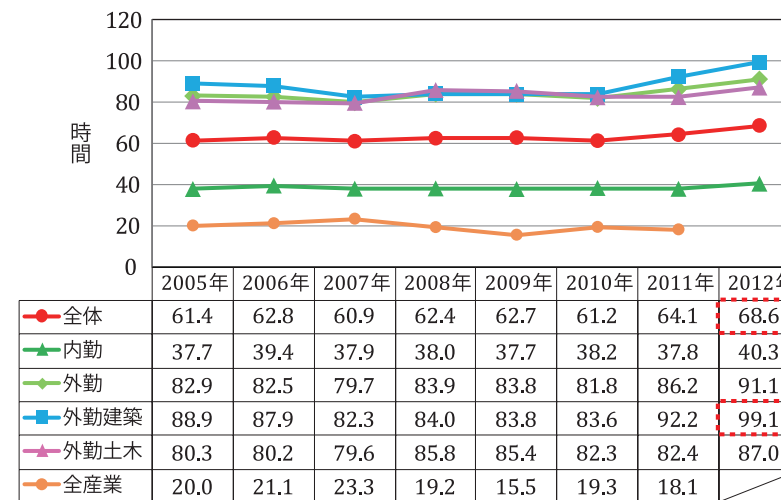
日建協の考えるワーク・ライフ・バランス

建設産業のワーク・ライフ・バランスを実現するためには、仕事に偏りすぎている現状を改善し、生活に配分できる時間を創出することが重要です。そのためには、単に労働時間を短縮するだけでなく、業務の効率化に取り組むなど、自らの働き方を見直し、仕事の質を高めることが大切になります。効率的に仕事を進めた結果、生活の時間を確保することができれば、私たちの健康が保持され、家族や友人との時間、自己啓発や地域活動への参加のための時間が持て、充実した生活が送れるものと考えます。（中期時短方針2013より）

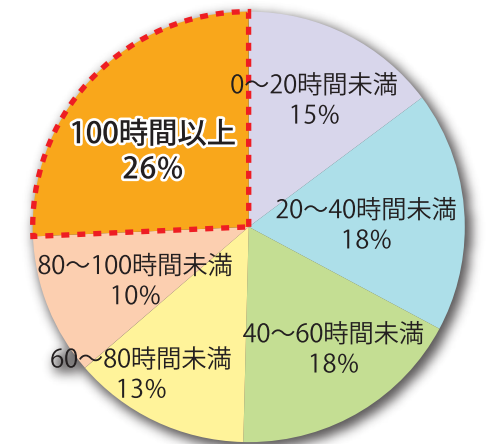
所定外労働時間の現状と日建協共通目標



時短の目的はわかったけど、私たちの所定外労働時間って一体どの位なんだろう？



1ヶ月の所定外労働時間（11月）の推移



1ヶ月の所定外労働時間（時間別分布図）



それでは、建設産業の労働時間の現状を紹介しよう。左上のグラフを見てくれるかな。2012年11月の1ヶ月で、日建協全体の所定外労働時間は68.6時間、特に外勤建築系では、99.1時間になってしまうんだ。この数字は、医学的にはどうなんだろう？



う～ん、医師の立場からみても、とても心配な数字ですね。右上のグラフをみてもわかるように、月に100時間以上の所定外労働をしている組合員が、全体の26%もいます。できるだけ早くこのような状況は改善すべきですね。



ボクたち建設産業の長時間労働の状況がよくわかったよ。ここ何年も所定外労働時間が減っていないことも問題だね。



「中期時短方針2008」では、初めて数値目標を掲げて取り組んだんだ。でも、残念ながら目標として掲げた所定外労働時間の削減には、いたらなかったんだ。そこで、「中期時短方針2008」に引き続き、「中期時短方針2013」では、同じ数値目標を掲げ、改めて取り組むことにしたんだよ。「中期時短方針2013」の日建協共通目標は、以下の通りだよ。

- 日建協共通目標 ● 所定外労働時間月100時間以上の過重労働をなくす
所定外労働時間の日建協平均を45時間以内に作る



ボクたちの労働時間の現状からみると、大変な数字だね。でも、自分たちの健康と生活を守るためには、どうしても目標達成しなければならないね！

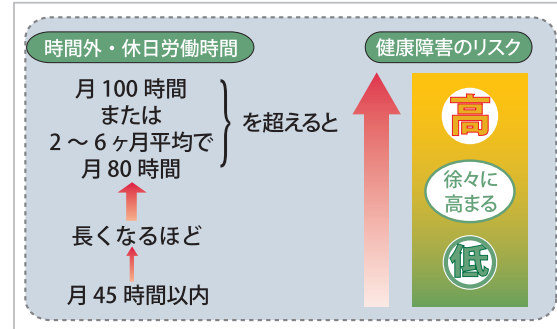
日建協共通目標の根拠・・・・・・・・・・・・・・・・



日建協共通目標の具体的な数字には、何か根拠があるんですか？



もちろん、医学的な観点からも根拠のある数字よ。
厚生労働省の「過重労働による健康障害防止対策」と「心理的負荷による精神障害の認定基準について」を参考にしているの。



厚生労働省「過重労働による健康障害防止対策」より

厚生労働省によると、「長時間にわたる過重な労働は、疲労の蓄積をもたらすもっとも重要な要因と考えられ、脳・心臓疾患との関連性が強い」という医学的知見が得られている」とされ、脳・心臓疾患と業務の関連性は月45時間以上の所定外労働との関連性が徐々に強くなるとされています。所定外労働時間が長くなるほど、関連性は強くなるとされています。

また、「心理的負荷による精神障害の認定基準について」によると、長時間労働が精神障害発病の原因になり得るとして、その基準として、強い心理的負荷となる時間外労働時間が示されています。例えば、発病直前の連続した3ヶ月間に月100時間以上の所定外労働を行い精神障害を患った場合は、労災が認定されます。

加盟組合の取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・

加盟組合は、具体的にはどんな内容に取り組んでいけばいいのかな？

加盟組合のみなさんには、所定外労働時間の削減をめざしていくうえで、加盟組合が必須の取り組み項目とする4個の「共通の取り組み」、そして各加盟組合の状況に応じて、6項目の「個別の取り組み」の中から選択して取り組んで欲しいと思ってるんだ。

● 共通の取り組み ●

- ① 時短意識の向上
- ② 労働時間の現状把握
- ③ 統一土曜閉所運動の強化
- ④ 平日の所定外労働時間の削減

● 個別の取り組み ●

この中から選択します

- ① 労使委員会の設置・運営
- ② 土曜・祝日閉所の推進
- ③ 振替休日・代休の取得推進
- ④ 作業所異動時休暇の導入・取得推進
- ⑤ 有給休暇の取得推進
- ⑥ ワーク・ライフ・バランスの理解促進

中期時短方針2013では、新たな共通の取り組みとして、外勤者の所定外労働時間の6割を占める「平日の所定外労働時間の削減」に取り組めます。今までは、どちらかという休日の取得推進に力を入れてきましたが、今回から休日の所定外労働時間と平日の所定外労働時間削減にバランスよく取り組むことにしました。

個別の取り組みとして、有給休暇を効果的に取得し、休暇の長期連続化をめざす「有給休暇の取得推進」、また、組合員がワーク・ライフ・バランスの意味を正しく理解し、時短活動に役立つようにするために「ワーク・ライフ・バランスの理解促進」に新たに取り組んでいきます。

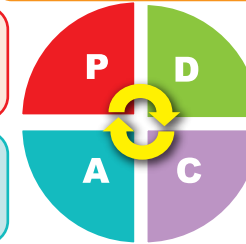


次に、加盟組合が1年を通してどのように活動するのか、紹介しよう。
具体的にはトライシートを活用しながら、時短推進活動のPDCAを実践していくんだ。

時短推進活動のPDCA

- ・時短目標の設定
- ・取り組み項目の選定

- ・時短推進活動の改善
- ・情報交換



- ・時短推進活動の実施
- ・情報交換

- ・時短推進活動の検証
- ・時短アンケート
- ・進捗度、情報交換

◆トライシートとは

日建協が作成した時短活動用の標準書式。トライシートを活用することによって各加盟組合の時短推進活動の「目標」「取り組み項目」「取り組みの現状」「取り組みポイント」を明確にし、活動の「進捗状況」や「達成度」を把握することができる。他の加盟組合との情報交換や自分の組合の記録としても活用できる。

組合員一人ひとりの時短への取り組み・・・・・・・・

時短に取り組む時、ボクたち一人ひとりで何かできることってあるのかな？

日建協では、時短に取り組んでもらうにあたって、加盟組合だけでなく組合員一人ひとりにも時短について考え、そして実践してほしいと考えているんだ。「中期時短方針2013」の中での取り組み事例を参考に、自分でできることに置き換えてやってみるのも一つの手だね。例えば…

● 取り組み事例 ●

- ・自分の所定内労働時間内の働き方を検証して、所定外労働時間の要因を分析する
- ・ノー残業デーには自分から「声かけ運動」を行う
- ・「ノー残業当番」を活用する
- ・朝礼時に自分が何時に帰るのか宣言する
- ・記念日、自己啓発、資格取得、趣味のために有給休暇を取得する
- ・計画的に有給休暇を使って、休日期間を長くする
(「中期時短方針2013」4. 時短推進活動の具体的な取り組み内容から)



日建協の時短への取り組み・・・・・・・・

日建協では「産業政策活動」と「日建協組織内への取り組み」をつうじて、時短活動を推進していきます。

● 産業政策活動 ●

- ① 提言活動
加盟組合に対して経過報告および意見収集を適宜行います。
i) 土木（公共）工事に従事する組合員の問題解消をめざして
ii) 建築（民間）工事における適正工期の実現にむけて
★ i, iiの取り組みの実現にむけた時短推進に関する行政・発注者等への意見を発信します。
- ② 提言の企画・立案
加盟組合のニーズや時短アンケートの結果を検討しつつ、必要に応じて新たな分析・調査を行います。
- ③ 要望・意見発信
産別組織としての考えをタイムリーに、行政・発注者・業界団体・加盟組合企業経営者に対し意見発信を行います。

● 日建協組織内への取り組み ●

- 加盟組合が取り組む時短推進活動に対する、支援・情報交換を充実させます。
- ① 統一土曜閉所運動の推進
 - ② 時短意識の高揚
 - ③ 時短推進委員会の開催による情報交換
 - ④ 時短アンケートの分析と活用

「中期時短方針2013」について説明しましたが、加盟組合の皆さん、理解していただけたでしょうか？ この冊子を実際に手に取ることによって、今まで以上に時短について考え、そして時短に取り組んでいただきたいと思います。

ワーク・ライフ・バランスの実現にむけて、全加盟組合と組合員が協力して、所定外労働時間の削減に取り組んでいきましょう。

「中期時短方針2013」に関するお問合せ先

日建協 政策企画局 福山、登藤、那知
TEL 03-5285-3870 / FAX 03-5285-3879
データ版ダウンロード先 <http://nikkenkyo.jp/>

建設産業の持続的発展のために

土木作業所で働く組合員の労働環境の改善をめざして



はじめに

日建協は、土木作業所で働く組合員の労働環境の改善をめざして提言活動を行っています。2012年度は10月に実施した「土木作業所アンケート」から得られた組合員の皆さんの声をもとに、地方整備局をはじめとする発注者に対して、作業所における労働環境の実態を伝え、問題の解消にむけた提言を行いました。

今号では、2013年5月から6月にかけて行った、全国8地方整備局と北海道開発局への提言活動の内容と主な回答を紹介します。

地方整備局への提言

(1) 総合評価落札方式について

提言① 総合評価落札方式の見直しにあたっては、基本理念に立ち返ることが必要です。あわせて、私たち受注者の労働環境をきびしくする仕組みを改めることが必要です。

- 1) 総合評価落札方式（技術提案評価型）の履行確認について明確な基準を作成すべきです。
- 2) 総合評価落札方式の見直しにあたっては、制度の改定にとどまらず、予定価格・調査基準価格を合わせて議論すべきです。

回答

- ・提案の内容は様々であり、基準の統一は難しいが、履行の確認についてはマニュアル等により簡素化に努めている。履行確認が過度にならないよう考えたい。（北海道、東北、関東、北陸、近畿、中国）
- ・総合評価落札方式については、様々な見直しを行っている。2013年5月にも一般管理費等の算入率の見直しを行っており、今後も情勢を見ながら検討を行う。（四国、九州）

◆回答を聞いて

過度な履行の確認は発注者にとっても業務負担となっており、簡素化は課題となっています。明確な基準の作成は難しいようですが過度な履行確認は防ぎたいと考えていました。

(2) 工期設定について

提言② 現場条件を加味した適正な工期設定による発注を徹底すべきです。

- 1) 現場条件が反映された工期設定を徹底すべきです。
- 2) 工期に影響を及ぼす事前協議などについては、工事発注時点で終了しておくべきです。

回答

- ・発注は現場条件を加味して行っている。条件に変更が生じた場合は各種施策に沿って協議を行うので、申し出てほしい。（関東、北陸、四国、九州）
- ・工事発注時点で事前協議が終了しないこともある。その場合条件明示を行っている。（北海道、東北、関東、北陸、中国）

◆回答を聞いて

発注時点で、事前協議を終了しておくことは困難な場合もあり、条件明示を行っているとの回答ですが、土木作業所アンケートでは不十分との声がありました。今後、条件明示が徹底されるか注視していきます。

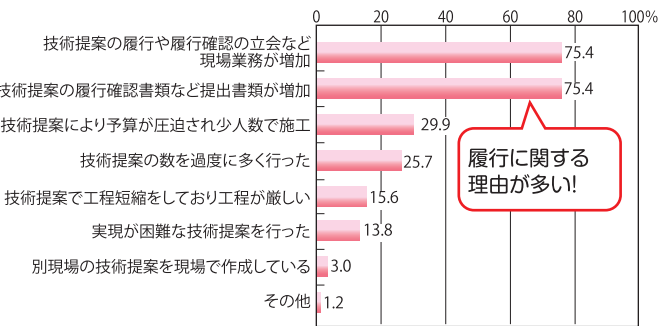


図-1 総合評価落札方式が長時間労働につながっている理由（3つ以内選択）

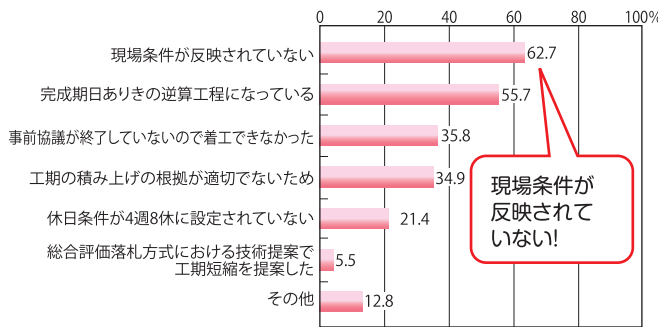


図-2 工期設定が長時間労働につながっている理由（3つ以内選択）

(3) 国土交通省の施工円滑化にむけた各種施策について

提言③ 国土交通省の施工円滑化にむけた各施策の運用が進むよう取り組みをおこなうべきです。

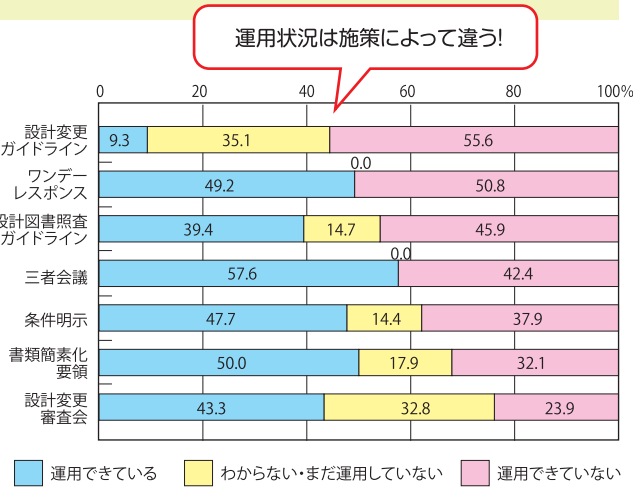
- 1) 工事を始めるにあたり、発注者・受注者が出席する三者会議等で、施工円滑化にむけた各施策の運用について確認をすべきです。また、その旨を特記仕様書に記載すべきです。
- 2) 施工円滑化にむけた各施策の運用状況を確認し、改善を図るべきです。また、施策の運用にあたっては、全地方整備局で統一したルールを作成すべきです。
- 3) 設計変更審査会について内容を再度周知徹底すべきです。

回答

- ・現場推進会議（三者会議）において各施策について話し合いを実施しているが、解釈の違いから運用にバラツキがある。認識統一のために受発注者合同説明会を実施している。（中部）
- ・運用状況についてはヒアリングやアンケートで調べている。その結果を活かし施策の運用改善に取り組んでいく。（関東、中部、中国、四国、九州）
- ・バラツキを無くすためにも、その他の施策と合わせて今後も周知を図っていく。（北海道、関東、中部、中国、四国）

◆回答を聞いて

国土交通省も運用にバラツキがあることは認識しており、その改善にむけて受発注者が合同で参加できる説明会を実施している地方整備局もあります。発注者側に運用上の問題がある時は、受注者側から発注者に対して正しい施策の運用を促すことも必要です。



運用状況は施策によって違う!

図-3 各施策の運用状況

(4) 片務性について

片務性とは発注者という優位的立場を利用して、受注者に理不尽な要求をおこなうことです。

提言④ 片務性を解消し、受注者と発注者双方が対等な立場で業務をおこなうべきです。

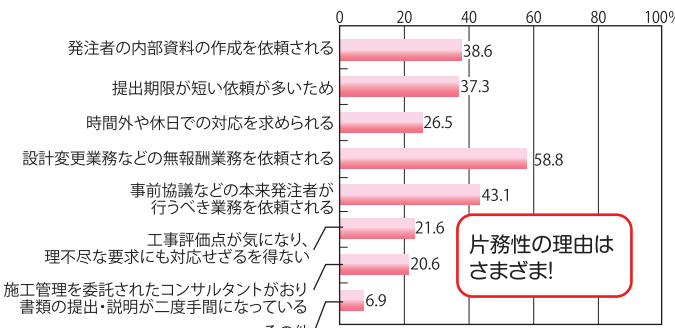
- 1) 片務性の実態を確認し、改善を図るべきです。
- 2) 片務性について理解がすすむよう、工事事務所など現地機関まで受発注者が対等であることを再度周知徹底すべきです。

回答

- ・アンケート等で確認をしているので、改善を図っていく。（北海道、関東、中部、近畿）
- ・施策の活用や、施策の周知をつうじて解決、改善を図っていきたい。また、事務所等に片務性解消につながる取り組みを行う。（北海道、関東、北陸、中部、近畿、九州）

◆回答を聞いて

国土交通省でも片務性があることは認識しており、その解消をめざしています。片務性の解消はなかなか実感できないかもしれませんが、発注者が実施するアンケート等で現状を伝えることが重要です。



片務性の理由はさまざま!

図-4 片務性が長時間労働につながっている理由（3つ以内選択）

提言を終えて

今回の提言活動では、私たちの取り上げた課題が長時間労働など作業所の労働環境に影響を与えていることを、地方整備局側も認識しており、それぞれの整備局では対策を進めていることがわかりました。しかし、その対策はまだ十分とは言えず、受注者側の労働環境改善にまではつながっていません。これらの対策を十分なものにするためにも受注者側からも発注者に対して施策の運用について声をあげるなど行動を起こす必要があると感じました。

今後、日建協では作業所の更なる労働環境改善につなげるべく、国土交通省本省に対して、意見交換を実施する予定です。更には国土交通省以外の作業所での労働環境改善をめざして提言活動を行う予定です。

これからも日建協はアンケートなどをつうじ、みなさんの声を発注者や関係団体に届けます。今後も、日建協活動にご理解ご協力をお願いします。



NIKKENKYO YOUNG GO! GO!



加盟組合間交流会「日建協ヤング・ゴー!・ゴー!2013」!! ~「初めまして」なのに、「乾杯」と言える出会いを~

加盟組合同士の交流と日建協の連帯意義を高めることを目的に加盟組合間交流会「日建協ヤング・ゴー!・ゴー!2013」を東京と大阪で開催しました!
若手を中心に約400名の組合員の方に参加いただき、両会場とも大いに盛り上がりました!
両会場の様子をほんの一部ですが紹介します。熱気に満ちた雰囲気が伝わるでしょうか?



Tokyo

東京会場 (5月24日 (金)) 東京プリンスホテル ガーデンアイランド



組合員を代表して乾杯の挨拶をする秋元清太郎さん(馬淵建設職員組合)。この会にかけ熱い想いが伝わってきました。



17名の「おやじーズビッグバンド」が登場!会場を盛り上げました。

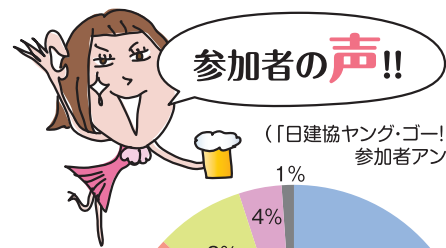


ピンゴゲーム特賞受賞の
小山さん(佐藤工業職員組合)



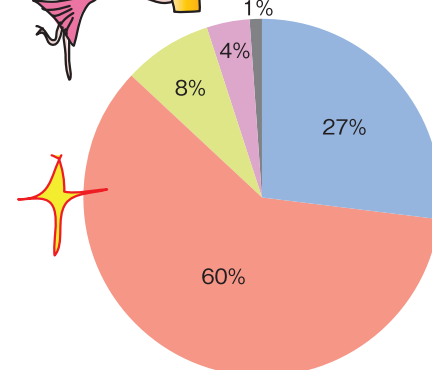
おいしいお酒と食事、そして出逢った素敵な仲間達。
組合間の垣根を越えて友情の輪が広がっていくようでした。

かつて全国各地の日建協地方協議会組織により、各加盟組合間の交流会が実施されていましたが、組合員数の減少などにより約10年前より交流会の開催はありませんでした。
しかし、ここ数年、組合員より交流会の再開を望む声が多かったことから、若手組合員の友好的輪を広げる機会を作ろうと企画しました。
結果は予想を超える大勢の組合員に参加いただき、大いに懇親を深めていただくことができました。日建協は産業別組合として、加盟組合員同士の交流の場をこれからも大事にしていきたいと考えています。

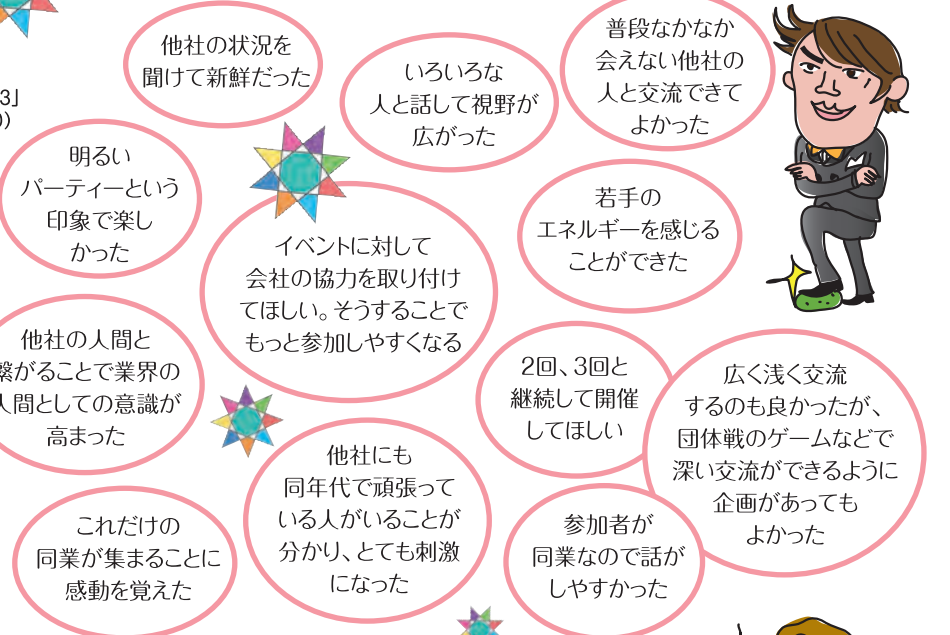


参加者の声!!

(「日建協ヤング・ゴー!・ゴー!2013」
参加者アンケートより)



とても良かった 良かった 特になし
あまり良くなかった 良くなかった



Osaka

大阪会場 (5月31日 (金)) シェラトン都ホテル大阪 大和の間



乾杯の挨拶は組合員を代表して青石 裕斗さん(アサマユニオン)、清水 有紗さん()。掛け合い漫才のような挨拶が会場の大きな笑いを誘いました。

大阪会場は神戸メインストリームジャズクインテットによる本格的なジャズ演奏。思わず参加者もうっとり。



最初は皆さん緊張気味だった大阪会場。しかし、そこは大阪。ゲームと音楽で盛り上がり、参加者全員が仲間となっていました。



ピンゴゲームの受賞者の皆さん
左から2番目が特賞受賞の田中さん(シミスユニオン)



2013

日建協 ヤング・ゴー!・ゴー!2013

日建協 共済制度のお知らせ

～2013年度の第1次募集の締め切りが目前ですよ！
「総合医療サポート」「積立年金」「職場復帰サポート」



万が一のケガや病気に備えることは、生活をしていくうえで、社会人にとって必需品といわれています。現在、ケガや病気で入院した場合、一日の自己負担費用が平均で16,000円近くかかるといわれています。さらに健康保険がきかない高度な医療を受けたりすると、その金額はますます高くなっていきます。日建協共済制度の総合医療サポートは、病気やケガで入院したときにかかる費用をサポートする制度で、次のような特長があります。

- ◆入院日額5千円コースと3千円コースがあり、1泊2日の入院の初日から給付されます。
- ◆ガン・急性心筋梗塞・脳卒中の三大疾病や、糖尿病、高血圧、腎臓病、肝臓病などの生活習慣病による入院・手術の場合は、倍額給付を受けられます。
- ◆女性の場合、女性特有の疾病である帝王切開手術、乳がんなどによる入院・手術の場合も、倍額給付を受けられます。
- ◆専門スタッフによる電話相談サービス（メンタルヘルス相談、健康医療相談）が受けられます。

日建協共済制度には加盟組合員しか加入できない日建協ならではの制度です。（「総合医療サポート」「職場復帰サポート」は配偶者も加入可能）。日建協ホームページに動画などで各制度の内容を解説していますので是非ご覧ください（<http://nikkenkyo.jp/archives/151>）。加入ご希望の方には申込書付きのパンフレットを送付しますので皆さんの所属する組合本部もしくは日建協共済制度事務局までご連絡ください。

募集期間 第1次募集 2013年5月から2013年9月13日（加入日2014年1月1日）
第2次募集 2013年12月から2014年1月20日（加入日2014年5月1日）
申込方法 共済制度のパンフレットについている申込書に必要事項を記入の上、日建協へメールもしくはFAXでお送りください。パンフレットは日建協ホームページからもダウンロードできます。

問合せ先:日建協共済制度事務局 八木 E-mail:yagi@nikkenkyo.jp TEL03-5285-3870 FAX03-5285-3879



申込書付きパンフレット

詳しくは

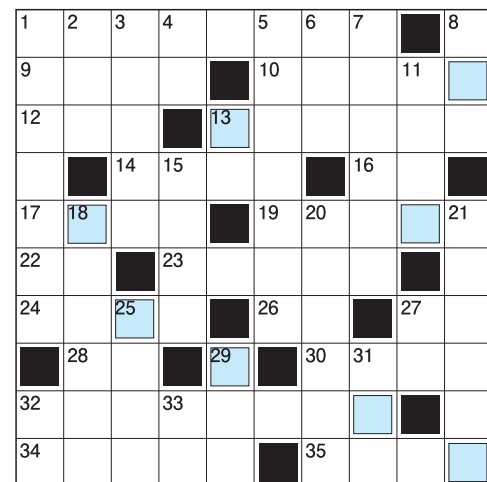
楽

クロスワードタイム

夏休みが終わっても残暑は続いています。体調に気をつけてお仕事に励んでください。二重枠の言葉を並び替えると答えが出来ます。答え、郵便番号、住所、氏名、加盟組合、Compass の感想を記入し、はがきかメールでご応募ください。正解者の中から抽選で30名様にクオカードを贈呈します。

■メ切:10月8日(火) ■宛先:mail → info@nikkenkyo.jp はがき → 〒169-0075 新宿区高田馬場1-31-16 山山ビル3F 日建協クロスワード係

ヒント: 会社や事務所で皆さんは実施しましたか?



ヨコのカギ

- 新しいものや新奇なものを好むこと。また、その人。
- 改まってある物事を行うやり方。「〇〇にのっとる」「〇〇を踏む」。
- 人工雪の吹き付け機。
- 鶏肉のことを英語でいうと?
- 1982年、ミスマガジンコンテストの初代グランプリを受賞。テレビドラマ「不良少女とよばれて」のヒロイン役を演じた元アイドル。
- 鮎飯の上にシメサバをのせ、箱型で押し固めた鮎。
- 現在より以前の時。過ぎ去った時。
- ある分野で有力、有名な三人を総称する言葉。
- 介するものがなく、直接であるさま。
- テニスなどで、相手コートの後方へ落ちるようになり、高く緩いボールを返すこと。
- ドイツの機械技術者(1834～1900)。高速回転ガス機関を完成し、ガソリン自動車の製作に成功。
- 青梅を塩漬にし、赤シンの葉を加えて色付けした、保存食品。
- すぐれているもの。えりぬき。「科学技術の〇を集める」。
- 物の中心部。地球の核。
- まかせられた役目。「〇を解く」「〇を全うする」。
- 本人自身が直接に筆を取って書くこと。また、その書いたもの。
- 室町時代、任国に勢力を張って領国支配を進めた守護。
- 回転する円盤に球を投げ入れて、どの目や色に止まるかを当てるゲーム。
- 列車や自動車などを操作して走らせること。

タテのカギ

- 江戸川乱歩の小説に登場する架空の私立探偵。
- 大人物は世に出るまでに時間がかかるということ。「〇〇晩成」。
- 磁石の針が南北を指すことを利用して、船舶や航空機の方位・進路を測る計器。
- 春・夏・秋・冬の四つの季節。
- 1555年に著した占星術に基づく長大な予言詩によって名声を得た、フランスの医師・占星術師。
- あたまたの動き。知力。
- みじん切りにした野菜とひき肉をいためて作る、汁気の少ないカレー。
- かたくなで、なかなか自分の態度や考えを改めようとしないうこと。
- 自分の国ではない。よその国。
- 弓を射る人。弓の達人。
- 売掛金の請求書、勘定書。書き付け。
- パソコン関連用語で、メニューバーで選んだ項目の内容をさらに細かく選択するための機能。補助的な手順。
- 物事を人に頼むための書状。
- 天気図上で、気圧の等しい地点を結んだ線。
- アサリなどの二枚貝を使ったパスタ料理。
- 古い石碑のことです。
- 映画の深夜興行。「〇〇〇ショー」。
- 物事の情勢がある方向に進もうとする傾向。時のなりゆき。
- 日本の食卓に欠かせない一品。「味噌〇」。
- サラリーマンを辞めてサラリーマン以外の違う仕事に就くこと。「〇サラ」。

Vol.797クロスワード 正解と当選

答えは「シキネンセングウ(式年遷宮)」でした。



多数のご応募ありがとうございます。次の当選者の方々にクオカードをお送りしました。またのご応募をお待ち申し上げます。

芋生敏彦(アサヌマ)、池田 博(奥村)、小幡祐子、宮崎幹子、安岡礼史(鴻池)、木村篤徳、宮原正憲(佐藤)、小松元彦、菅原竜也(シミス)、松井博美(銭高)、近藤 暁(大豊)、岡元和隆、福田信一、福田隆久(鉄建)、荒木良香、小林耕治(東洋)、羽田和彦(戸田)、大澤敏伸、黒田純恵、山本恭代(飛鳥)、後藤英仁、松村 透(西松)、大島義美、栖原 稔(野村)、梅澤政弘、加藤嵩人(ハザマ)、川上陽子(ペンタ)、西野智子(三井住友)、香山康一、富永祐子(横河) <敬称略>

もや 船 い

5(ごー)・4(よーん)…。電光掲示板に表示される残り時間に合わせて、スタンドからカウントダウンが始まった。試合終了のホイッスルがグラウンドに鳴り響くと、全身に鎧をまとった屈強な猛者たちが右手を天高く突きあげ、地鳴りのような歓喜の声をあげベンチに駆け寄ってきた。学生最後の試合を勝利という形で終えることができた。思い返せば、辛く長い4年間だった。しかし、これほどまでに何かに没頭したことが今までにあっただろうか。

きっかけは食堂でかけられた一言だった。入学式を終え数日経った頃、私は今の大学では考えられないような古びた食堂で、気の合う仲間2人と少し早めの昼食をとっていた。3人揃って大盛りのカツカレーを食べていたことを今でも鮮明に覚えている。少し早めということもあって、食堂には空席が目立ち、私たちの他には数名の学生がいる程度だった。大事に残っていた薄っぺらのカツを口に頬張ろうとした、その時だった。頭上から「クラブ決めた? まだなら格好い

いスポーツ一緒にしない? 女の子にもモテるよ。」とドスの効いた声で話しかけられた。見上げると体重100キロはあろうかという真黒に日焼けした勇ましい大男が私たち3人を見下ろしている。女性からのサークル勧誘を心待ちにしていた私たちにとって、それは決して好ましい訪問者ではなかったが、「モテる」という魔の言葉に導かれるように、この日の練習を観に、正確に言うならば入部手続きをさせられることになる。

動機不純ではあるが、この日からこのスポーツの魅力に引き込まれることになる。走る、投げる、捕る、蹴るといった球技の全ての要素を網羅しており、本場アメリカでは、国民的スポーツとして人気を博している。あれから20年が経とうとしているが、未だに私を虜にし続けている。まだまだ書き足りないが、今日はこのあたりにしておく。アメリカンフットボール 実におもしろい。私はこれからこのスポーツを愛してやまないだろう。(アメフト狂の詩)

編集後記

秋にもかかわらず暑さが厳しく、また局所的な豪雨が発生するなど不安定な天候が続いています。職場運営も体調管理も難しい日々ですが、皆さん一人ひとりの工夫により業務効率をあげることで労働時間を短縮し、ワーク・ライフ・バランスを進めていきましょう。

さて、8月に行われた第90回定期大会をもって、「日建協丸」は2013年度の航海をスタートしました。植村船長のもと、新しく4名のクルーが加わった10人体制で大海原を進んでいきます。めざすべきは組合員の労働条件の向上、そして建設産業の魅力向上です。荒波もあるかもしれませんが、しっかりと前を向いて進んでいきたいと思ひます。

機関誌Compassは今後も、多くの組合員の皆さんに興味を持って読んでいただけるよう、内容を充実させていきたいと思ひます。今号をご覧いただいたご意見・ご感想をお聞かせください。これから1年間どうぞよろしくお願いいたします。

オフィスでできるトレーニング!

3



体幹編

POINT

足を下ろしきらず、床につけないように動作を繰り返します。足がつかないように足首は上に曲げておきましょう。



デスクにむかってニーリフト!

お腹に効く!

イスに浅めに腰かけます。床から足を少し浮かせた状態がスタートの姿勢です。



慣れてきたら...

シッティングツイスト!

わき腹に効く!

背筋を伸ばして座ります。



おなか、特に下腹部の筋肉を意識しながらヒザを持ち上げます。この時、体がぐらぐらしないように手を机において体を支えてもOKです。10～20回程度繰り返しましょう。



ゆっくりと右足を持ち上げ左ひじを右ひざにつけます。腹筋を意識してこの姿勢を5秒間キープ。



反対側も同様に。これを左右交互に10回ずつ行います。



今回は「オフィスでできるトレーニング!」最終回です。運動はほんの少しのやる気があれば、工夫次第でどこでも出来ます!ぜひ続けてくださいね!



安藤・間職員組合

今春、安藤建設株式会社と株式会社間組の合併により、株式会社安藤・間が発足しました。二つの力が一つになることで新たな価値を創造していく新会社の誕生です。これを受け旧両組合で協議の結果、安藤建設職員組合と間組職員労働組合が今年7月に統合し、新しく安藤ハザマユニオンこと安藤・間職員組合として日建協の一員となりました。

会社及び組合事務所は、オフィスや飲食店が並ぶ東京都港区赤坂に移転しました。組合事務所では、日々組合員の将来に向けた熱い議論が交わされています。

- 設立：平成25年7月27日
- 組合員数：2,180名
(2013年8月1日現在)
- 支部数：10支部
- 本部執行委員数：8名
- 中央執行委員会：2回/月

安藤・間 職員組合 結成大会



左上から 尾崎さん、片山さん、佐保さん、池田さん、八月朔日さん
吉田さん、田中さん、一柳さん、内田さん、谷島さん

統合を終えた委員長の今の心境

昨年の会社合併発表から今まであっという間で、統合を終えてホッとしているのが正直な気持ちです。最初は統合に向けて解決しなければならない課題が多く、何から手をつけて良いのか分からない状態でした。そこを乗り越えたのも、統合前の両執行部の結束力と、そして多くの組合員の皆さん、OBの皆さんの支援のおかげだと思っています。



一柳中央執行委員長

くりに力を入れていきますが、ワーク・ライフ・バランスの正しい理解を広げることも組合の役割だと思いますし、そのことに気付いた組合員も自ら先手を打って意識改革に取り組んでほしいと思います。

新組合のあるべき姿について

統合は組合活動を根本から見直す良い機会であったと思います。両組合の良い点を取り入れ、無いものは新しく作るなど、これまでなかった新しい視点で組合のあり方や活動内容を一から構築していくことができました。

統合にあたり新たに策定したもののひとつに「ミッション・ビジョン」があります。これは新組合のあるべき姿をイメージで表したもので、「活力」「ゆとり」「誇り」の3つをキーワードとして組合活動を進めることとしています。これらの3つが密接に絡み合った先に私たちが考える新組合の将来像があると思います。もちろん人それぞれ価値観は違いますが、自分なりの「活力」「ゆとり」「誇り」を持てる職場の実現をめざしていきたいと思っています。そして、今までの所属会社や組合、さらに今までの自分にとらわれない未来をつくる飛躍の年にしたいと考えています。



谷島書記長

統合にあたり力を入れて取り組んだこと

「組合員の早期融和」です。異なる会社で育った人たちが一緒にいるわけですから簡単にいかないこともあるでしょうが、私たちはお互いが理解し合うことですべてが始まると考えました。具体的な活動として、統合前の昨年9月から委員長と書記長の2名で両組合の支部執行部を全て訪問し、お互いの顔合わせを行いました。会って話すことで、心のうちにあった不安をそれぞれ解消でき、その後の活動がスムーズにできたと思います。他にも互いの若年層だけを集めた懇談会や、合同レクリエーションなどを実施しましたが、ここでできた繋がりが、統合に向けて行った議論の土台になりました。

早期融和に向けた活動もそうですが、全てにおいて常に先に先に手を打って活動してきました。このことが実際に統合を進める上でも、十分な議論を行う環境を生み出したと考えています。

WLBと組合員に期待すること

社会にとってワーク・ライフ・バランスが大切なキーワードとなっています。この言葉は「仕事と私生活の相乗効果を高める考え方とその取り組み」全般をさすと考えます。私たち組合員は単にゆとりを持って働くこと、つまり「時間で成果を確保する」という考え方ではいけません。ワーク・ライフ・バランスの実現を確保できる環境づ

これからに向けて意気込みを!

統合によって私たちは新しい活動のスタート地点に立っただけです。やらなければならないことはまだまだたくさんあります。新組合の執行部としてプレッシャーも多いですが、精一杯頑張っていきたいと思っています。

組合統合という転機にある中で、既に一柳委員長と谷島書記長は抜群のチームワークを発揮しています。古い概念に拘らないで統合を機に組合をより良くしていきたいという熱い思いが言葉の節々から感じられる取材でした。

安藤ハザマユニオンの皆さんの活動がより充実したものとなりますように日建協も応援しています。